

「ご縁を生かす」

山口県長徳寺住職 河谷正也
ちやうとくじ かわたにしやうや

私達の日々の生活は、沢山の「ご縁」に支えられています。その「ご縁」の全てを知ることには
ないませんが、自分では気づくことのできない「ご縁」の存在を意識することはできません。「ご
縁」やきっかけをしっかりと生かすには、

そのことに本気で取り組むことが大切だと思います。

中学生の時、漢字の書き取りの宿題がよく出されました。私は先生に叱られるのが苦痛
で、機械のようにノートのマスを埋めていました。しかし、学年でトップクラスの友人のノー
トを見せてもらいましたら、漢字一字につき十回書くという宿題に、その漢字のつく十の
熟語を書いていました。先生からの宿題というきっかけは同じでも、その取り組み方には、
天と地ほどの差があったのです。

曹洞宗大本山永平寺を開かれた道元禅師様は、「たとえば、長い年月を、いろんなものに
振り回されたとしても、その中のただの一日でも、自分なりにしっかりと生きただらば、今だ
けではなく、時を超えて救われる。そのような生き方により、一日一日の命は尊い命にな
り、大事なからだとなる」とお示しです。

何かをする時、させられているという感覚が強いほど、時を虚しくしていることが多い
ようです。しなければならぬことに、本気で取り組む時、「わずらわしき」や「なやみ」を
感じるものがなくなり、今を大切に生きることができるといふ教えです。

日々、楽なことばかりではありません。嫌だけれどしなければならぬことや、何もでき
ないときもあります。いろいろな「ご縁」やきっかけを自分の行いと心得、しっかりと全うするこ
とを心掛け、感謝して向き合っていきたいものです。「ご縁」を生かせるか生かせないかは、私
達次第なのです。